

2023 全日本グラススキー連盟 専務理事 新谷起世の基本方針案

皆様、日頃より当連盟の活動に多大なご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

2022 シーズンは FIS グラススキージュニア世界選手権では細田光希選手がドイツに渡り挑戦し入賞とさせて頂きました。沢山の応援ありがとうございました。

日頃からの努力に対しては勿論のこと、当連盟会員の皆様、ご関係ご尽力頂いた皆様、そして特別協賛頂いた太陽ホールディングス株式会社皆様へ感謝をさせていただきます。

グラススキーの楽しみ方や、取り組み方は人それぞれではありますが、昨年まで同様、グラススキーヤーの底辺拡大を目指し新規連盟会員の獲得を図る事を目標とさせていただきます。

また、今季は昨シーズンに続き、グラススキー指導等「資格制度の維持と拡充」に力を注ぎたいと考えております。

昨シーズンの取り組みの成果は大きく、沢山の方に資格を所持して頂きました。

その背景としまして、無資格指導が近年の社会通念上できなくなっております。

特に文部省が定める部活動の外部指導者制度の導入により、指導をその国の NF(その国唯一の競技統括団体)による公認指導資格の所持をもって指導に当たることが必須となり、現在置かれているグラススキー場の成り立ちやその経緯からも、グラススキー場と公的機関との関りも強く残っており、当連盟としても会員の皆様へは公認指導資格を持って新規のお客様や、お知り合い友人の方への指導などを強くお願いする立場でございます。

また、有資格者による指導は昨今、社会一般から強く求められております。

そのような社会の変化への当連盟の責任として、各種資格の認定等を行うのみでなく、資格所持者への研修会等の拡充、またそのような機会に恵まれない資格保持者へのオンライン講習会等の実施で新しいグラススキーヤーへの責任ある対応を進めていきたいと考えております。

既に資格を所持して頂いている会員の方々の透明性を高め、新しく資格を取得する方々へのモチベーション向上、更には公認グラススキースクールや公認グラススキーレーシングスクールを運営する方々への責任として連盟公認 Web サイトへ資格保持者のお名前の掲載やグラススキー場受付施設等で掲示可能な証書等の発行等を進めさせて頂いております。

各事業についての考え方

①連盟公認グラススキーレーシングスクール・テクニカルスクール

*条件は指導に連盟公認インストラクター、デモ経験者等があたっていて会員登録が済んでいる事、開催スキー場が公認されているか、公認クラブ登録がなされているか、または少なくとも1名は賛助会員であること。

*いつでも公認セッター講習会が開催できる。

*引き続き、後任セッターの資格拡充を目指します。

*いつでもアシスタントインストラクター検定会他が開催できる。

②連盟公認グラススキーイベント

*条件は同上

*各地で開催されている不定期なグラススキー講習会等を公認化する事により、連盟活動の広報化や連盟会員の増加を図る。

*基本的に全てのイベントは連盟公認とすることができますので、皆様からのお知らせお待ちしております。できるだけ早めにお知らせください。

③級別テスト、ハイレベル検定、インストラクター検定等検定会の実施と検定用鋼の変更

数値の基準明確化

ハイレベル検定のエキスパート 85 ポイント以上合格

スプリーム 90 ポイント以上合格

アシスタントインストラクター検定実技 70 ポイント以上合格

への変更

④有資格者研修会のオンライン受講を可能にする。

*教材の作成。(中央研修会の内容)

⑤全日本選手権等競技会開催について

*主管は開催地に関係する公認グラススキークラブ(イベント毎独立採算)としながらも、可能な限り、参加クラブから競技役員・大会ボランティアを募集し、最低限の「業務委託費」連盟から補助し、参加者からのエントリーフィーと併せて賄う事とする。エントリーフィーは主管する公認グラススキークラブが取りまとめる。

*対象、全日本選手権、全日本グラススキー技術選手権、世界ジュニア選手権予選会(ユース、シニア強化イベント)

⑥海外レースの選考について

今季はイタリアで行われる世界選手権を主たる目標と考えています。

*選考トレーニング会は7月1日2日(斑尾高原 NTC)

*月1回開催予定のナショナルチームトレーニング会での取り組みも選考対象となります。

*監督やコーチの帯同については、現地で監督を手配する等の選択肢もあります。まずは選手の希望を聞いて、対応を検討したいと思います。

*大きな懸念材料は、航空運賃の高騰です。

⑦チルドレン遠征について

*今期も国内強化遠征を検討中。開催場所は都留を予定しています。

*選考トレーニング会は7月1日2日(斑尾高原 NTC)と昨年の全日本選手権を参考とする。

*月1回開催予定のナショナルチームトレーニング会での取り組みも選考対象となります。

⑧新しいグラススキー場、グラススキーチームの周知

*若桜氷ノ山スキー場(鳥取県)

*カムイスキーリンクス・名寄ピヤシリグラススキークラブ(北海道)

*観音池公園グラススキー場(宮崎県)

*法華嶽グラススキー場（宮崎県）連盟公認グラススキー場 NTC として依頼する。

宮崎でのトレーニング会、NTC として強化指定選手の強化の拡充。

⑨中央研修会はサンパーク都留グラススキー場に開催依頼

全日本選手権、全日本技術選手権は中尾山高原に開催依頼

⑩連盟の新役員として、理事に井上功さん、監事に松原正和さんを登用したいと考えております。

以上、皆様からの各種ご要望やご意見もお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。